

令和4年5月

訪問歯科診療実施 歯科医療機関 各位

無歯科医地区などを含む過疎地域における『訪問歯科診療』  
の安定供給に関する調査 研究班

東京医科歯科大学 救急災害医学分野 中久木 康一  
島根県歯科医師会 医療管理部 澄川 裕之

無歯科医地区などを含む過疎地域における『訪問歯科診療』の安定供給に関する  
調査研究(Web 調査)へのご協力をお願い(依頼)

前略

先生方におかれましては、訪問歯科診療などを通じて、地域歯科医療や歯科口腔保健活動にご尽力されておられることに心より敬意を表します。

このたび、公益財団法人勇美記念財団より「在宅医療研究への助成」をいただき、「無歯科医地区などを含む過疎地域における『訪問歯科診療』の安定供給に関する調査」を行うこととなり、地域ごとに1県ずつの歯科医師会を対象としたアンケート調査を行っております。更に、この該当県以外の歯科医療機関の状況もお伺いしたく、Web調査を実施することとなりました。

特に、人口過疎地域の訪問歯科診療を実施されている歯科医療機関の管理者の先生(病院等の場合は、歯科の管理責任者の先生)に、ぜひご協力いただきたく、よろしく願いいたします。

本調査の目的は、今後も需要が増えて行くと考えられる訪問歯科診療を含む歯科医療提供体制を、人口過疎地においても継続して供給していく方策を検討することにあります。

ご回答いただいた内容は、個人が特定される情報などは消去したうえ報告書に掲載させていただき、住み慣れた故郷で暮らし続ける体制を目指して、全国での訪問歯科診療の安定供給に向けた提言に活用させていただきます。

ご多用のところお手数をおかけいたしますが、ぜひご協力いただけますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。

草々

## 記

調査名 : 「訪問歯科診療」の安定供給に関するアンケート調査(Web版)

対象 : 既に歯科医師会を通じた調査を実施した、岩手・群馬・岐阜・奈良・島根・愛媛・大分の各県以外に位置する、歯科医療機関の管理者の先生(病院等の場合は、歯科の管理責任者の先生)

内容 : 所属する歯科医療機関の状況(従業員数等)(5問)、訪問歯科診療の状況(1か月当たりの訪問歯科診療/居宅療養管理指導の延べ人数(実日数)・連携先・移動時間等)や先生のお考えなど(16問)、人口過疎地域の訪問歯科診療に対するお考えなど(2問)、オンライン診療の訪問歯科診療への活用に対するお考えなど(3問)、ほか大項目で計29問

※ 本調査への回答には、15～20分程度の時間を要すると考えられます

資料 : 下記より、「研究班」「調査概要」「参考資料」などが確認できます

URL <http://jsdphd.umin.jp/research.xhtml>

調査票 : <https://c-info.niph.go.jp/survey/index.php/254383?lang=ja>

※ 無記名のアンケートとなりますが、地域性の背景を知るため、歯科医療機関の立地市区町村のご記載までをお願いしております。

※ 回答にあたっては、Web 回答フォーム冒頭の“調査協力による研究参加ご了承ください”にチェックを入れたうえで、ご回答をお願いいたします。

※ 回答は、おひとり1回のみでお願いします。

※ システム上は、回答中に保留しても再回答できるシステムではありますが、適切に稼働しない場合もあり得るかと思えます。できればしっかり時間の取れるときに、最後まで全てまとめて回答していただけたほうが、システムエラーなどにならずに済むと思えます。

※ 調査期間は、2022年5月～**7月末**といたします 6月を予定しています

問合せ先 : 中久木 康一(東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師)

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

nakakuki@biglobe.jp

以上